

## 夏の星空を観察してみましよう(観察方法)

環境省では、星空観察を通じて光害(ひかりがい)や大気汚染、環境保全の重要性について関心を深めていただくことに加え、良好な大気環境や美しい星空を地域資源(観光や教育)として活用していただくことを目指し、平成30年度から星空観察を推進しています。

今年度も夏と冬の二回、肉眼による観察とデジタルカメラによる夜空の明るさ調査を呼びかけることとしており、夏の観察期間(8月21日～9月3日)を御案内したところですが、全国的な天候不良の影響で十分なデータが収集できていないことから、今回追加で調査期間を設けることとしました。

### デジタルカメラによる夜空の明るさ調査(追加期間)

観察期間：令和元年 9月20日(金)～10月3日(木)

観察時間：日没後1時間半～3時間半まで

データ報告期間：令和元年 9月20日(金)～10月17日(木)

(事前の申込みは不要ですが、今後3年程度の継続観察を希望される方は、登録をお願いします。)

使用できるカメラとレンズを用意します

RAW形式で保存可能なレンズ交換式デジタル一眼カメラ(2008年発売以降の機種を推奨)を使用します。使用できるレンズは、標準レンズ、35mm前後の焦点距離(フルサイズ換算で50mm)で、開放F値が5.6よりも小さい(明るい)ものです。

カメラを設定します

カメラのダイヤルを「M」(マニュアル)に合わせます。

カメラの設定画面で、シャッタースピードを30秒、F値を5.6、ISO感度を800、写真画像の保存形式をRAW、長秒時ノイズ低減をON、高感度ノイズ低減をOFFに、フォーカスモードをMFにします。

(分析に使用するため、カメラの時計は正確に合わせておきましょう。)

夜空を撮影します

カメラに記録メディアを入れ、三脚にセットします。遠くの風景でピントを合わせます。

カメラは真上(天頂)に向け、画面の長辺が東西方向に向くように調整します。

(厳密に合わせる必要はありません。)

シャッタースピード30秒で撮影します。なお、撮影中に薄雲がかかってしまった場合は、撮影を中断し、雲が通りすぎるのを待ちます。

撮影データを確認します

画面の左から右方向に星が流れて写っていることを確認します。

星は少しずつ位置が移動しているので、30秒間でほんの少しずつずれて写ります。

撮影したデータを送ります

撮影が終わったデータを報告サイト(<https://hoshizora.photo/>)に送信してください。

「デジタルカメラによる夜空の明るさ調査」の観察結果は、後日環境省ホームページで公表予定です。

(個別に結果をお知らせすることはしません。)



環境省COOL CHOICE  
MOE 萌えキャラクター  
君野イマ

デジタルカメラによる夜空の明るさ調査は、今後、星空の地域資源としての活用に資するため、3年程度の継続的なデータの蓄積を経て、地域ごとの夜空の明るさの段階分けを予定しています。今後3年程度の継続観察(夏と冬の2回)への参加を希望される団体、若しくは個人の方は、環境省(hikari@env.go.jp)まで、是非御登録をお願いします。



環境省COOL CHOICE  
MOE 萌えキャラクター  
君野ミライ

星空観察や光害について、特設サイト「星空を見よう」も是非御覧ください。

<https://www.env.go.jp/air/life/hoshizorakansatsu/index.html>